

呼吸ケアチーム

誤嚥性肺炎を繰り返す患者さんや、気切カニューレを使用している患者さんなど、呼吸器系に問題を抱えている患者さんが少なくありません。

専門知識を持つチームスタッフが、病棟を越えて、専門的かつ的確なアセスメントを実施し、患者さんに適切な体位ドレナージ、肺理学療法、車椅子離床を促し、最終的に自己排痰の獲得、気切カニューレ抜管からの発語・嚥下能力の獲得を目指しています。

現在、チームには 19 名のスタッフが在籍し、各階に配属された看護師・セラピストが、呼吸器系に問題のある患者さんにすぐに対応できる体制をとっています。

私たちは、患者さんの呼吸困難感を改善し、不安なく生活ができるように支援していきます。

医療機器の活用（カフアシスト E70）



当院では、自己排痰が困難な患者さんに、カフアシスト E70(PHILIPS 社製)という機械を用いて、咳の介助や、自己排痰獲得を促しています。

また、カプノメーターやスパイロメーターも利用して、安全なリハビリ実施、効果の確認を行っています。

専門性を活かして（多職種チーム）



現在、医師 2 名、看護師 13 名、セラピスト 4 名の計 19 名が、それぞれの専門性を活かして、様々な観点からリハビリテーションを進めています。